

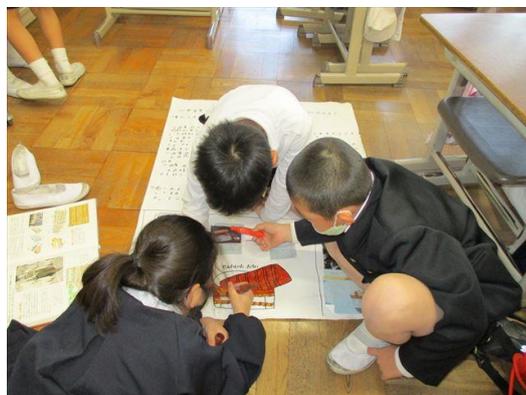
船穂小学校 校長室だより

令和3年2月26日

第10号

今年度も、あと1か月

先日、担任不在で自習している中学年の教室に入りました。子どもたちはグループに分かれ、学習したことを模造紙にまとめる活動をしていました。ほとんどの子が時間いっぱいまで熱心に取り組み、とてもよい掲示物を仕上げました。早く終わったグループはどうするのかと見ていたら、「発表の練習をしよう」と話していました。担任がいなくても自分たちで考えて活動する姿に、子どもたちの成長を感じました。



今年度もあと1か月になりました。最後の参観日が中止になり、子どもたちのがんばっている姿を見ていただくことはできませんでしたが、どの子も確実に成長し、たくましくなっています。

残り少ない3学期、もうすぐ1つ学年が上がると張り切っている子どもたちの気持ちを大切にしながら、学習の総まとめをしていきます。

昔遊び

1年生が生活科の昔遊びの学習で、たこ揚げをしました。風をうまく受けて上手に揚げている子、たこを引っ張りながら運動場を走り回っている子など、様々なスタイルで楽しんでいました。子どもの頃、たこ揚げが大好きだった私は、思わず近くにいた子に「ちょっと貸して」と頼んで、久しぶりにたこ揚げ



をしました。青い空に

たこが気持ちよさそうでした。でもその横で、担任の先生は、走り回ってからまったたこ糸をほどくのに、てんてこ舞いでした。

教室では、けん玉、こま回し、おはじき、あやとり、めんこ、だるま落としなどをしていました。昔の遊びの素朴な楽しさに子どもたちが気づいてくれるとうれしいです。



昔遊びではありませんが、登校後すぐに運動場へ出て、鉄棒やなわとびをしている子がいます。寒さや鉄棒の冷たさに負けず、毎朝、元気に運動する子たちに感心しています。船穂小学校の子どもたちのたくましさを、ここでも感じます。

